

県内景気動向調査 報告書

2024年2月

遠田商工会

<目次>

第1部：県内の景気動向

①経済動向

- 1-1. 鉱工業生産指数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 1-2. 新設住宅着工戸数（指数）
- 1-3. 公共工事請負金額（指数）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-4. 百貨店・スーパー販売額（指数）
- 1-5. 有効求人倍率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 1-6. 新規求人倍率

②企業景気動向

- 2-1. 業況判断 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2-2. 売上 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2-3. 採算 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第2部：遠田商工会管内の観光動向

- ①遠田管内の宿泊観光者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

- ②遠田管内の主要観光スポット入込者数

<本報告書における指数の計算方法について>

①以下の指数は、平成 27 年の数値を 100 とし、季節変動調整済。

【計算式】

出典統計表の計算方法による

【対象】

1 - 1. 鉱工業生産指数

②以下の指数は、本報告書において経年比較をしやすいするために正規化を図っている。正規化の方法は、平成 30 年の数値を 100 として下記の計算式にて計算。なお、季節変動は未調整。

【計算式】

平成 30 年全体の実数 ÷ 12 …… A

計算対象年月の実数 …… B

指数 = $B \div A \times 100$

【対象】

1 - 2. 新設住宅着工戸数 (指数)

1 - 3. 公共工事請負金額 (指数)

1 - 4. 百貨店・スーパー販売額 (指数)

<本報告書における DI の計算方法について>

DI は各出典統計表の計算方法による。

<各種統計値の更新間隔について>

本文書で使用する統計値は、四半期単位での比較が可能になるよう、更新間隔が月単位及び四半期単位のものを中心に使用する。

<商圏内の消費購買動向について>

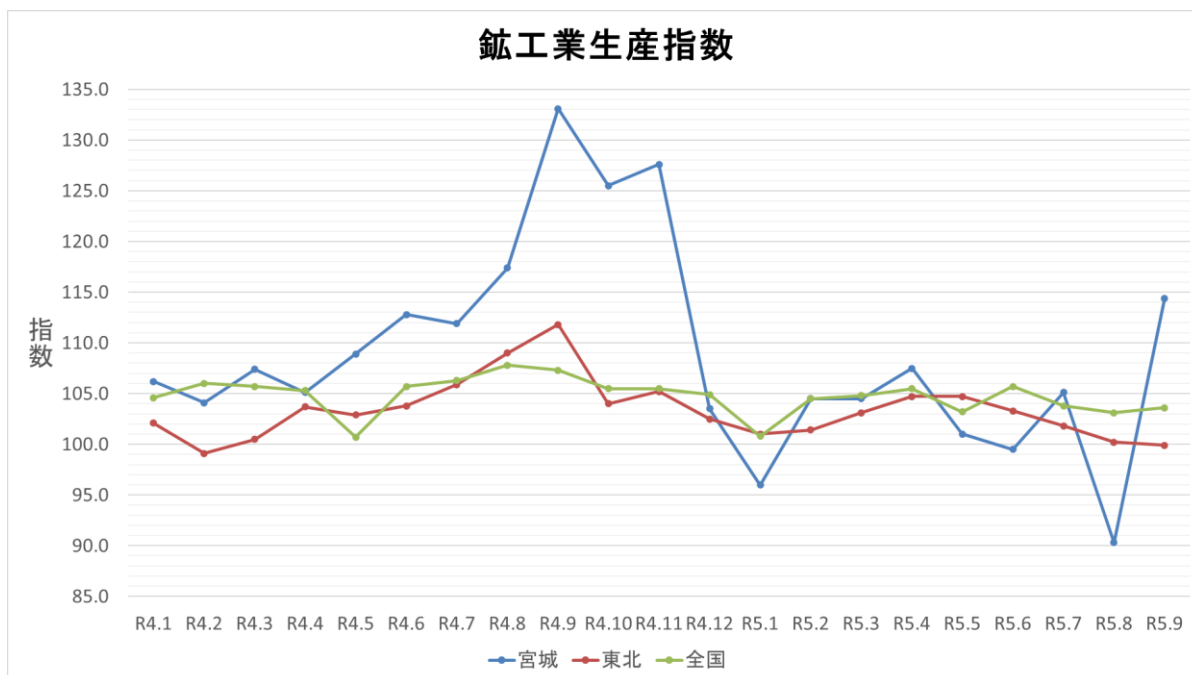
標記動向の分析については昨年掲載していたが、参考元である「宮城県の商圏 消費購買動向調査報告書」が 3 年ごとの発行であるため、今年度は掲載を行わない。

第1部 県内の景気動向

(出典：みやぎ経済月報)

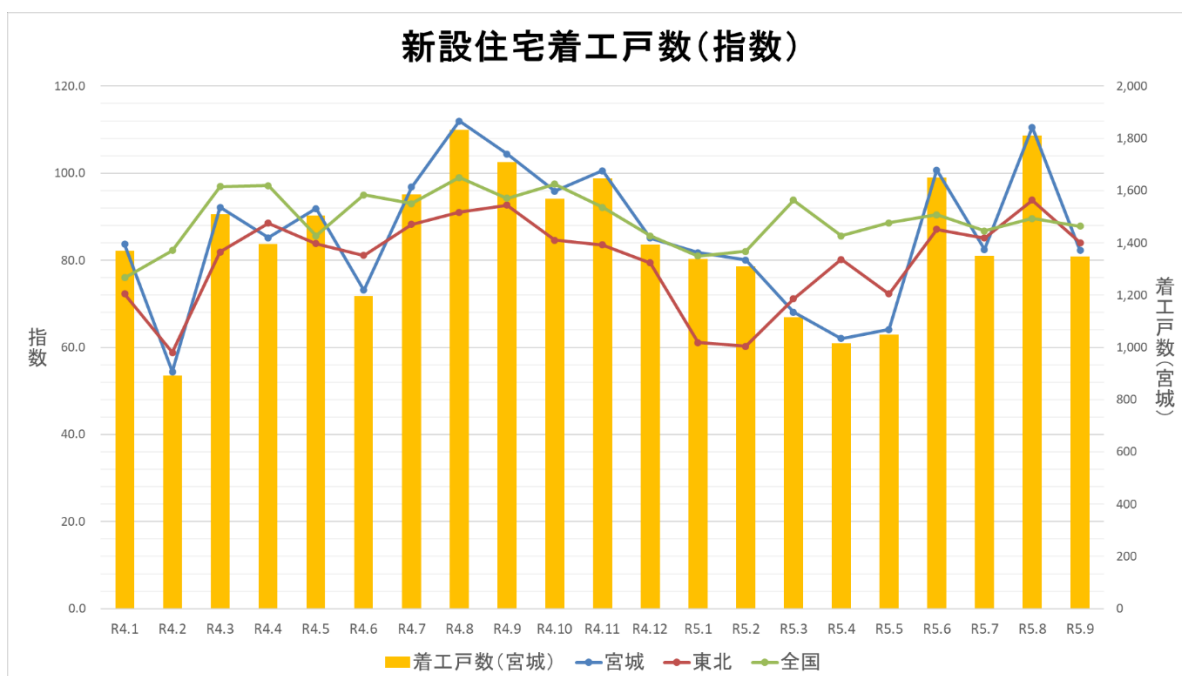
①経済動向

1-1. 鉱工業生産指数



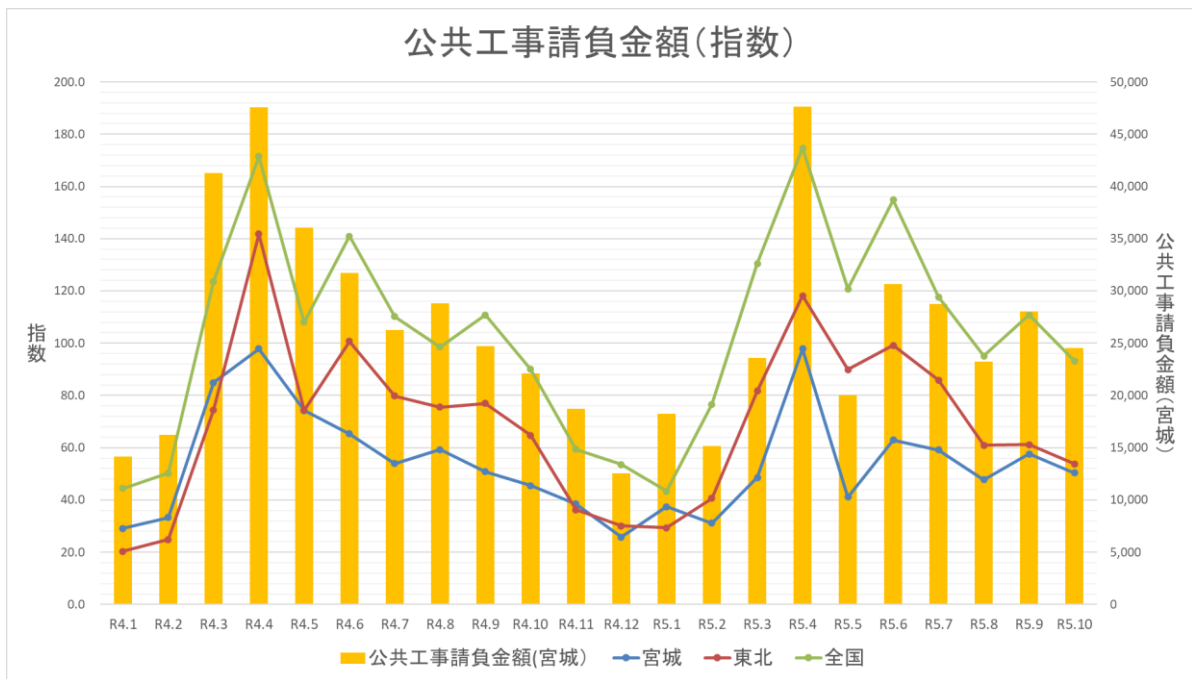
鉱工業生産指数は、令和4年と比べると下降しているが、再び上昇傾向にある。

1-2. 新設住宅着工戸数(指数)



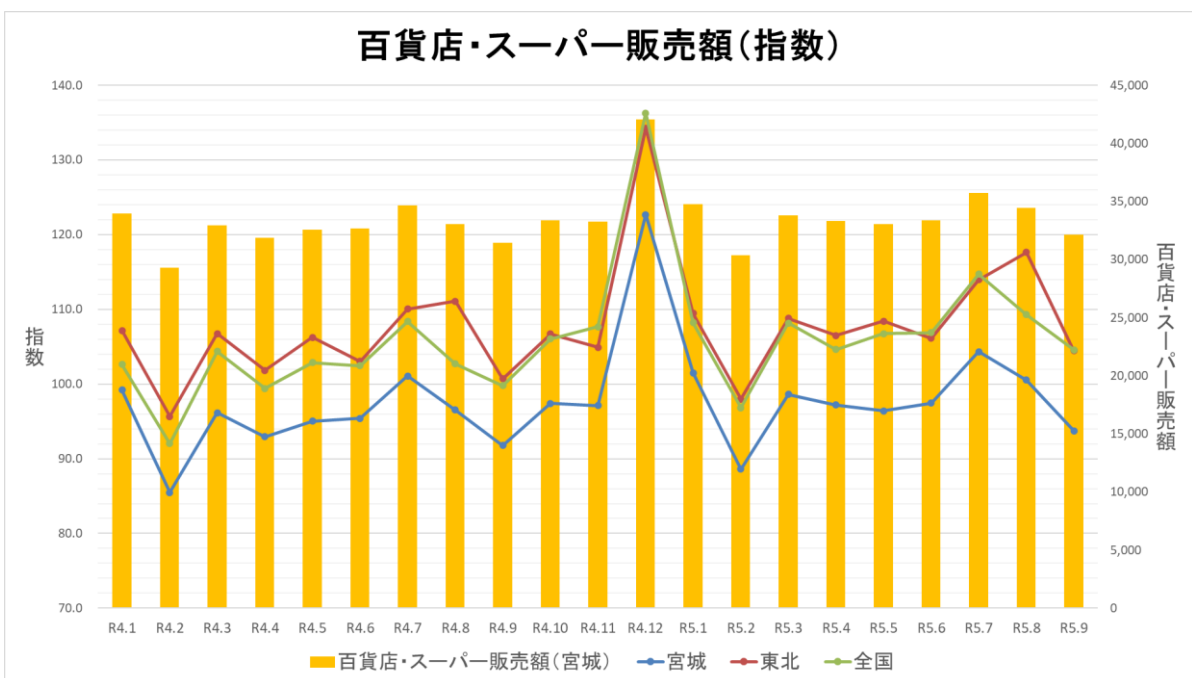
新設住宅着工戸数については、指数は全国、東北と比較すると上昇傾向にあり、宮城の着工戸数も令和4年より増加傾向にある。

1-3. 公共工事請負金額（指数）



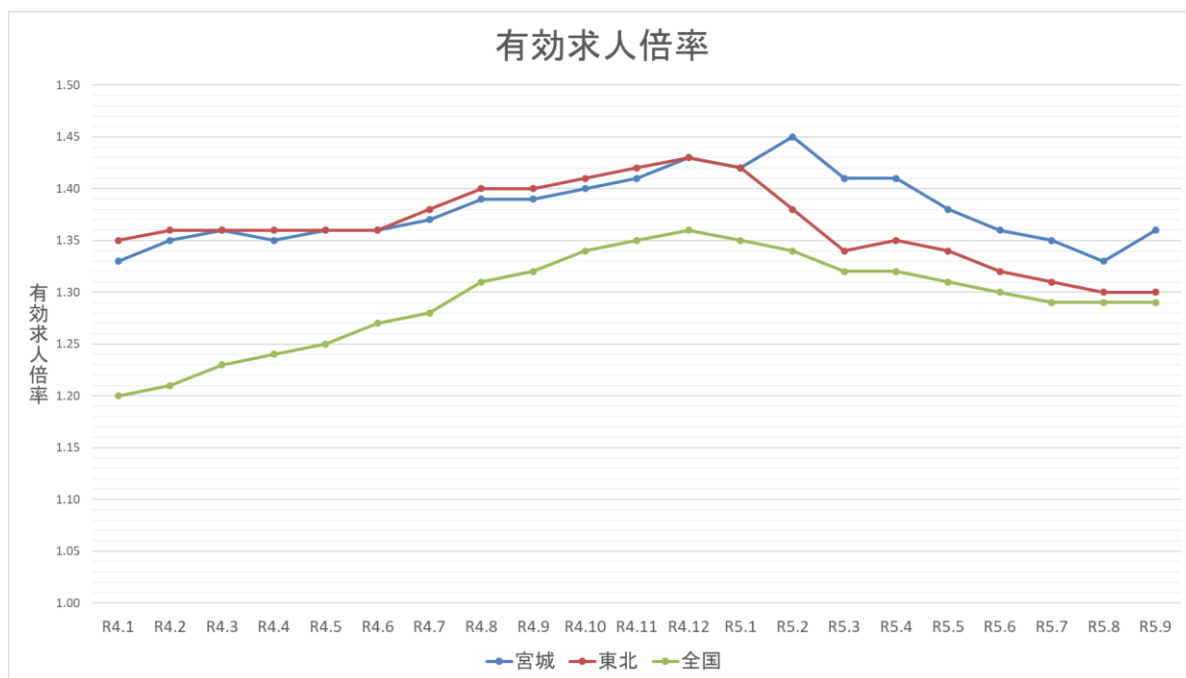
公共工事請負額については、請負額・指数ともに全体的に増加傾向にあったが、需要が落ち着いてきたのか、下降傾向にある。

1-4. 百貨店・スーパー販売額（指数）



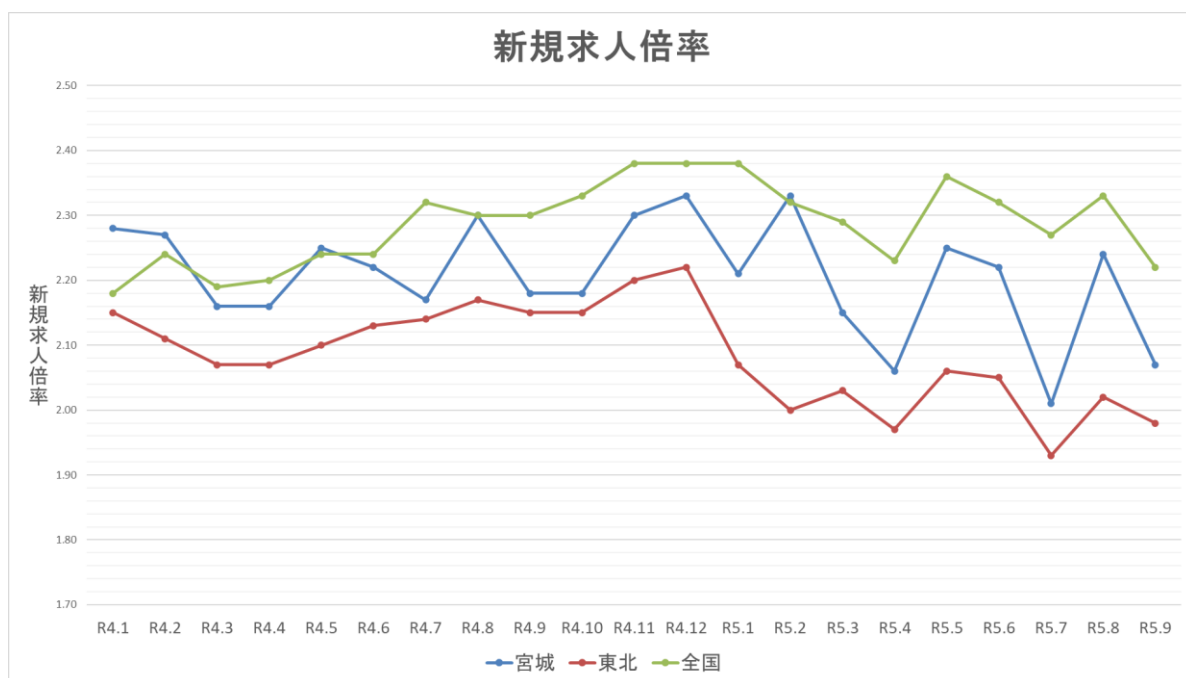
百貨店・スーパー販売額については、販売額は横ばいだが、指数が下がってきている傾向にある。

1-5. 有効求人倍率



有効求人倍率については、宮城は東北・全国の数値を上回っている。全体的にはやや下降気味でありつつも横ばい傾向にある。

1-6. 新規求人倍率

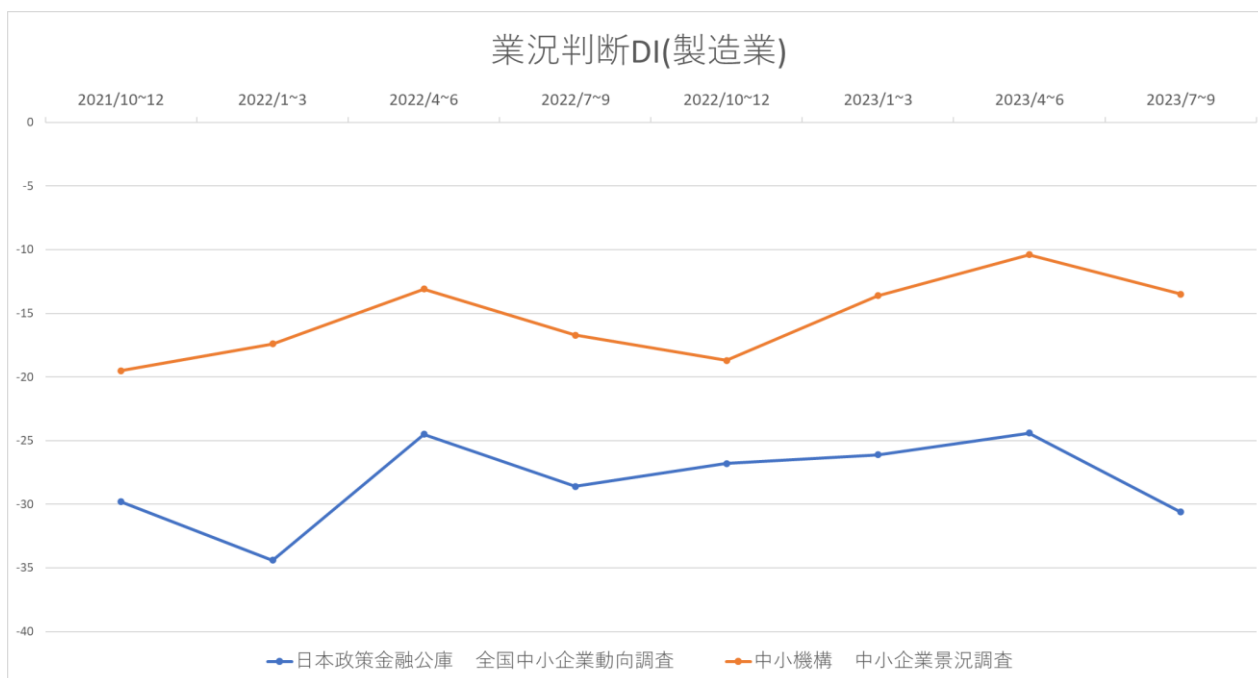


新規求人倍率については、令和5年に入ってから全体的に上がり下がりが激しい状況。

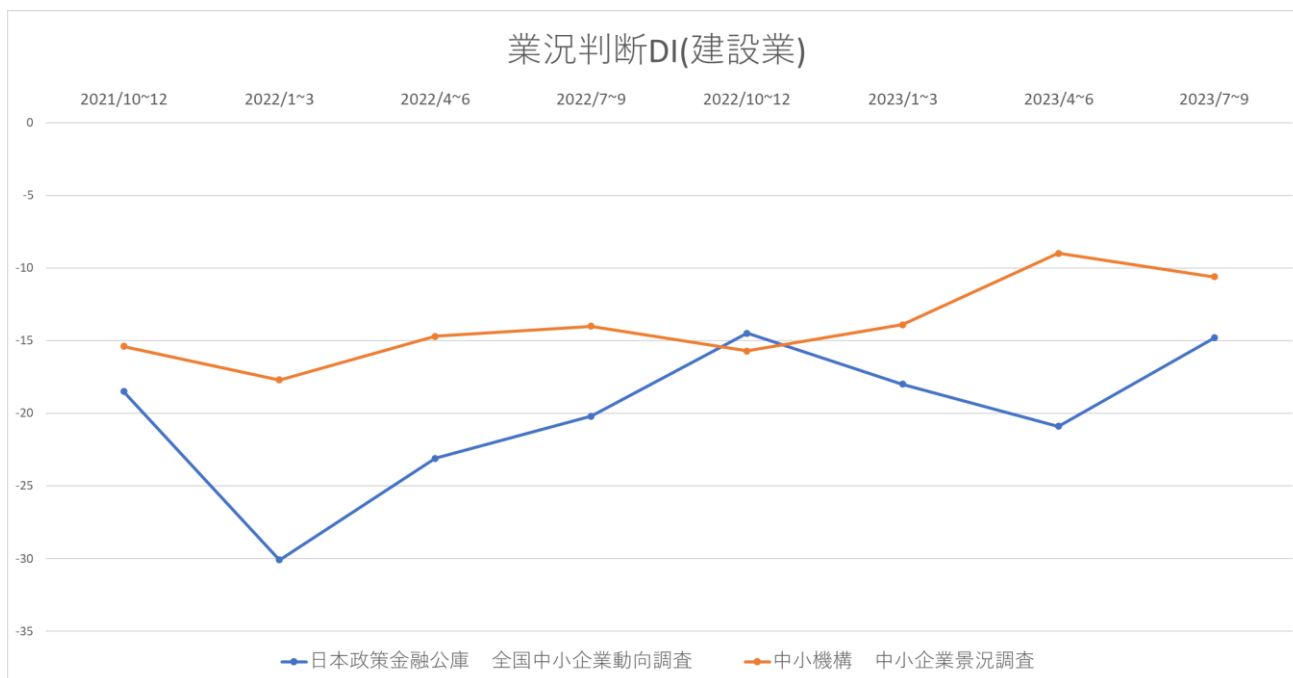
②企業景気動向

(出典：日本政策金融公庫 全国中小企業動向調査、中小機構 中小企業景況調査)

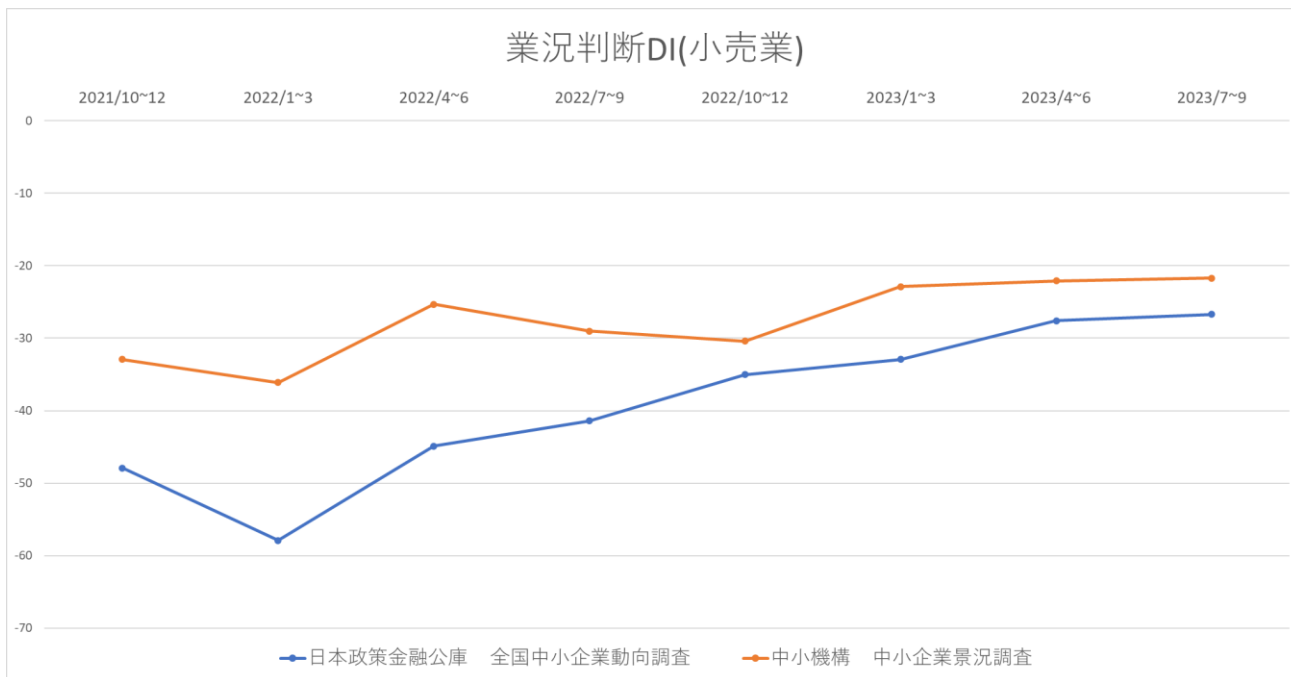
2-1. 業況判断DI



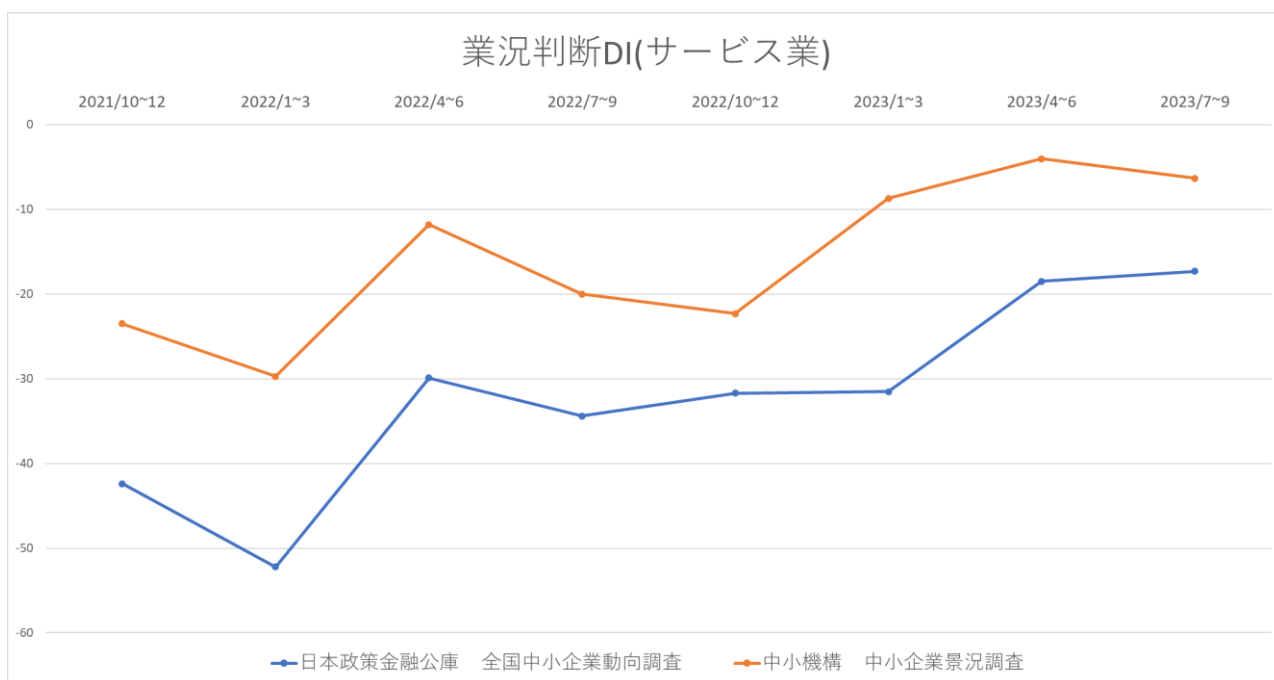
製造業においては、一時上向き加減になったものの、その後下降気味となっている。



建設業においては、全体的に業況が上向いていることがわかる。

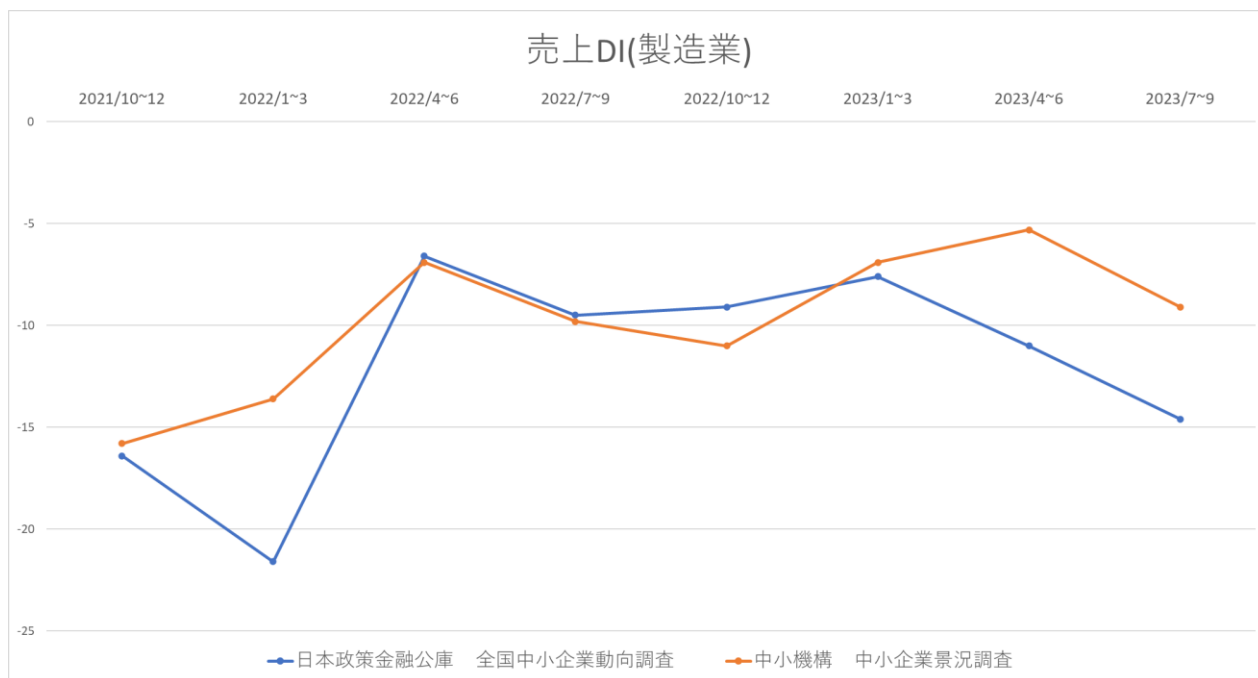


小売業においては、ほぼ横ばいで推移している。

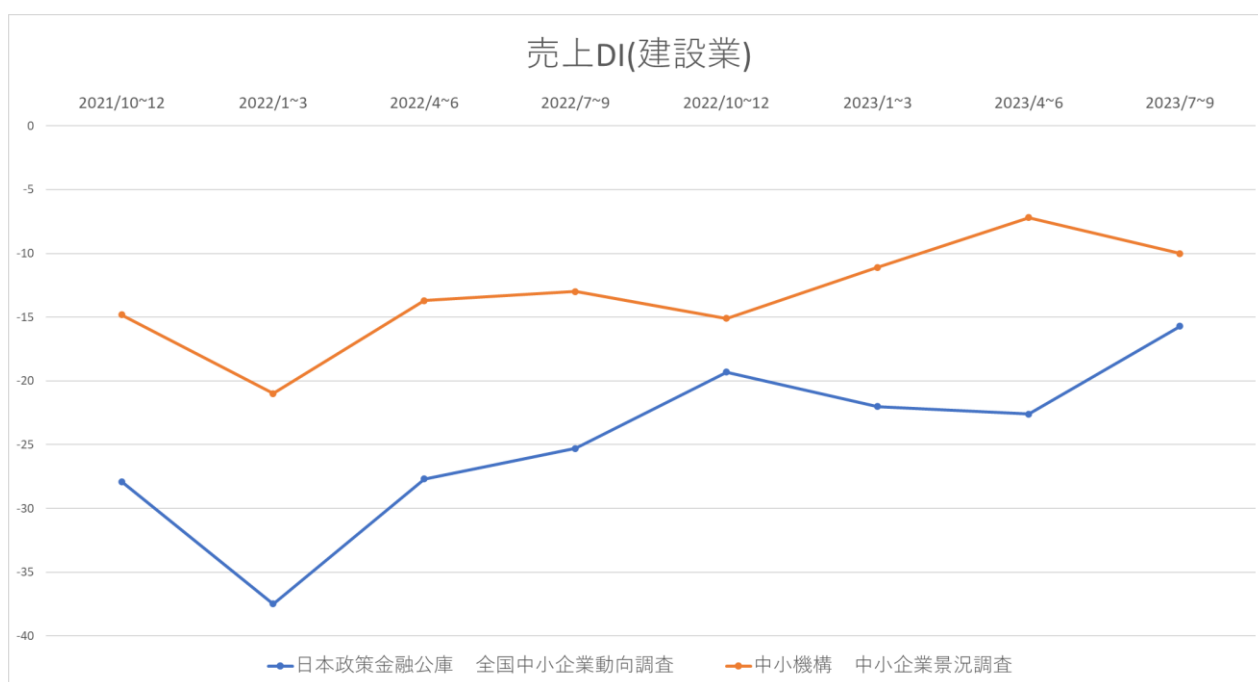


サービス業においては、業況が上向き傾向で推移している。

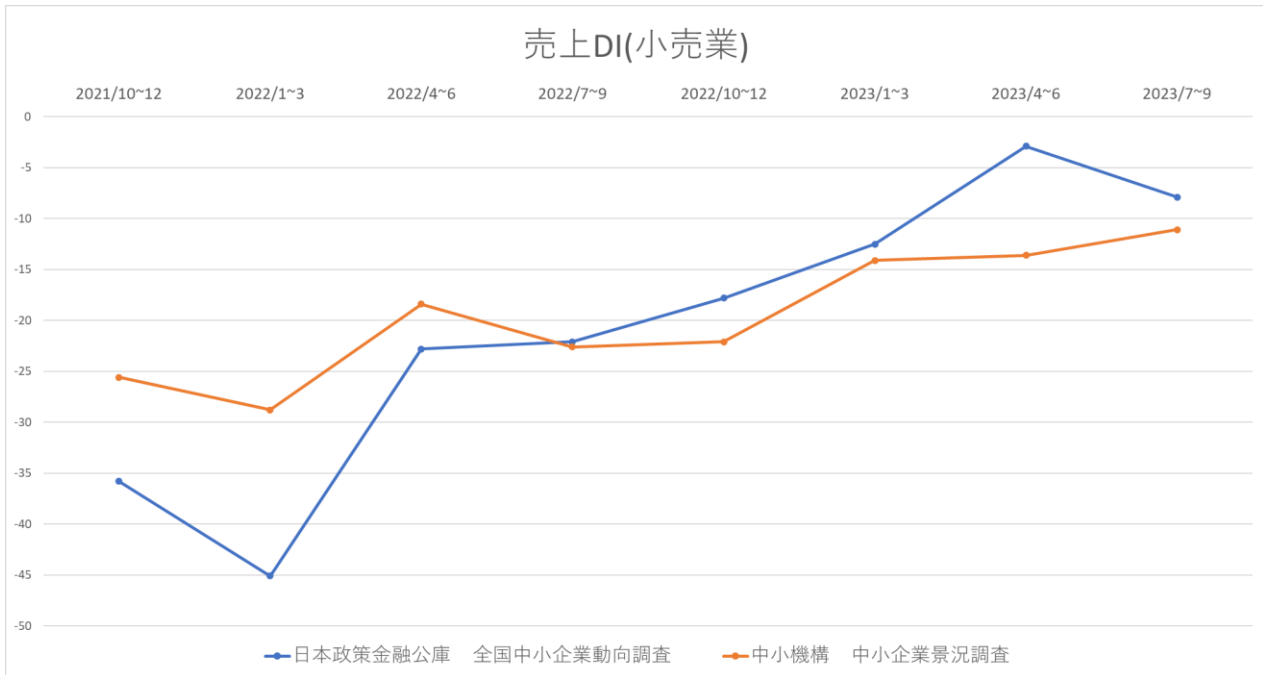
2-2. 売上DI



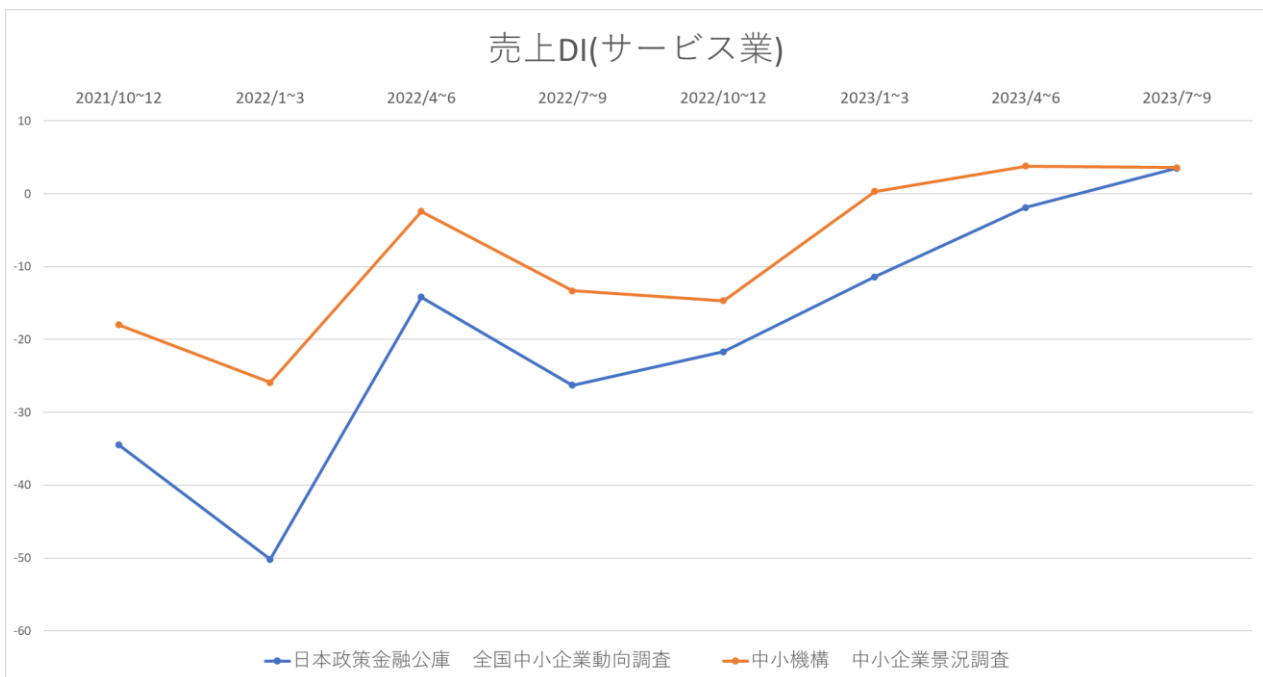
製造業においては、売上が下降気味になっている。



建設業においては、売上が増加傾向にある。

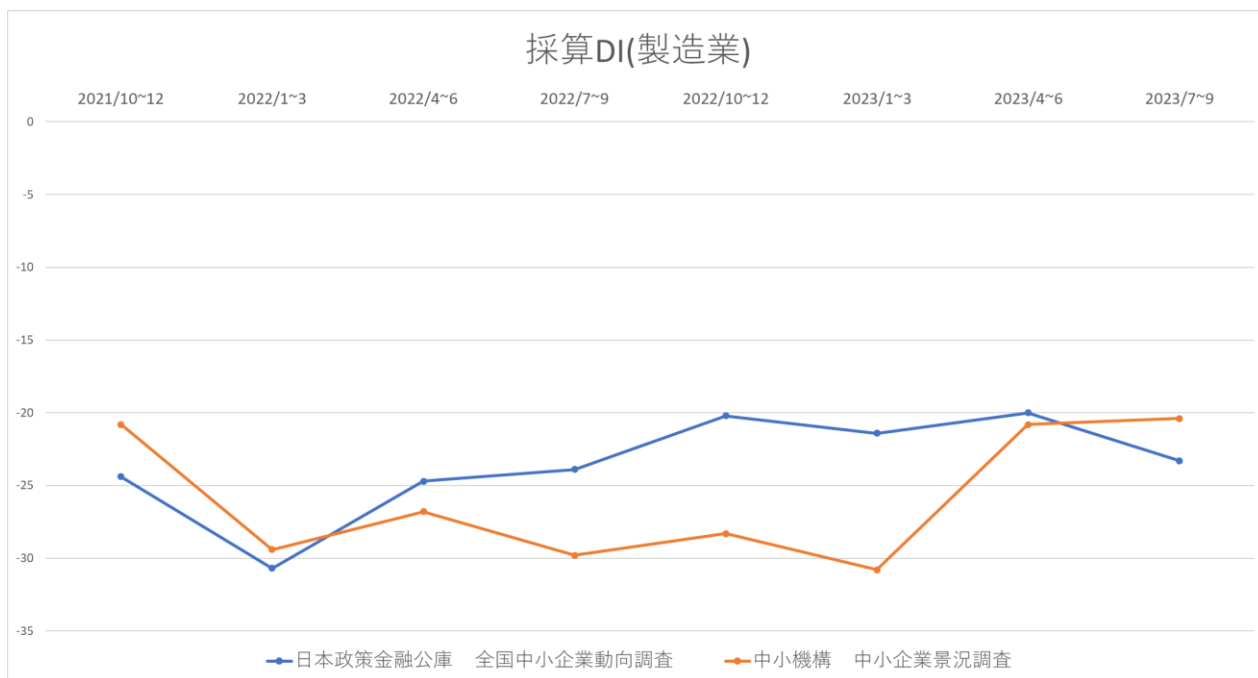


小売業においては、昨年より引き続き売上は増加傾向にあり、復調気配にある。

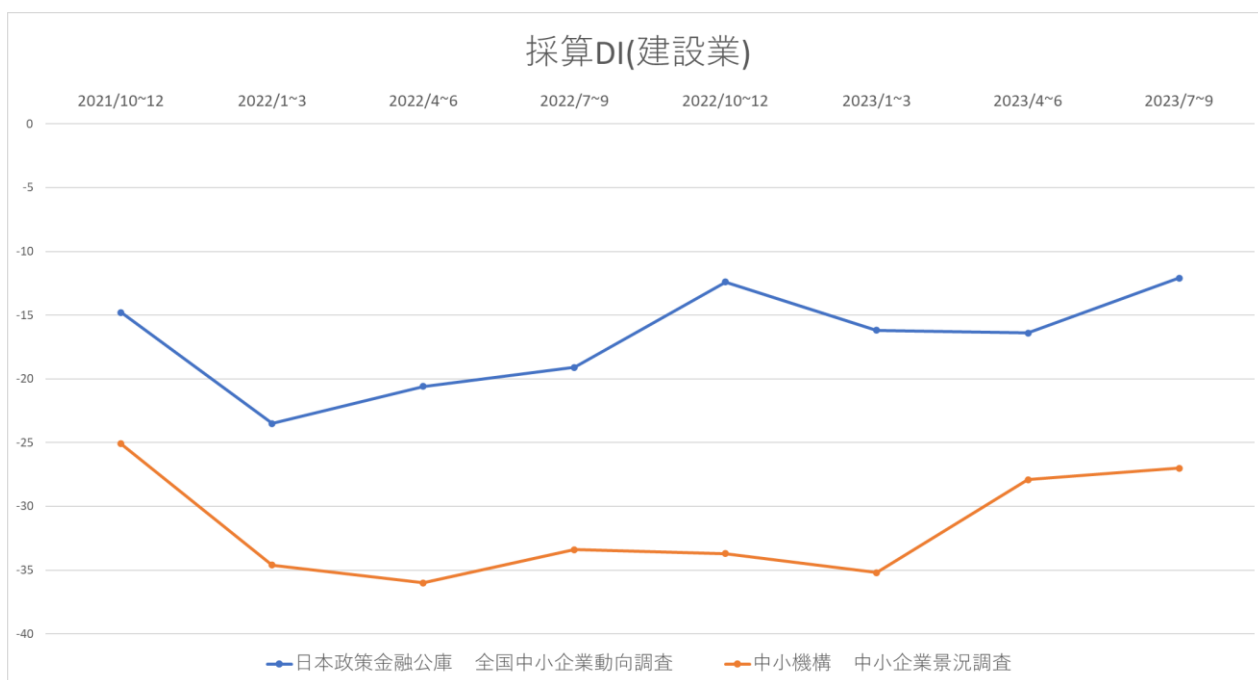


サービス業においては、昨年後半より売上増加傾向にあり、復調気配が読み取れる。

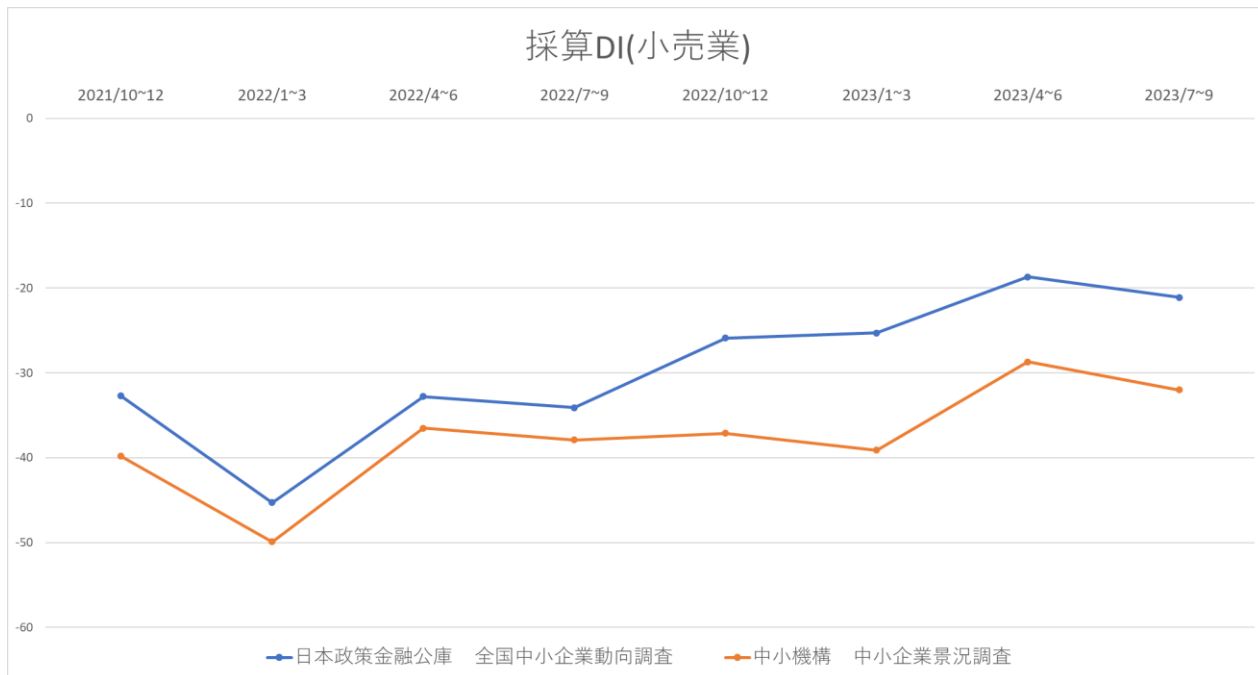
2-3. 採算DI



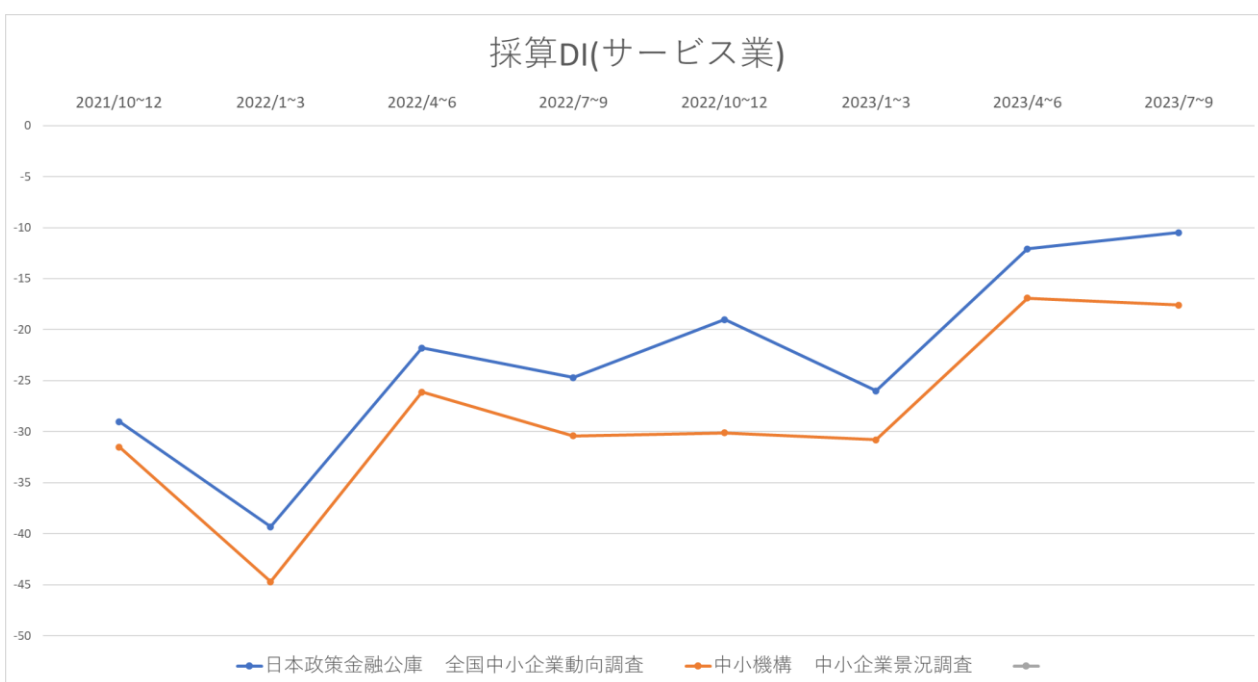
製造業においては、令和5年に入ってから少し採算が改善してきたが、状況はあまり良くない。



建設業においては、若干ではあるが採算が良くなっている傾向が読み取れる。



小売業においては、採算が緩やかに良くなってきたところ、若干の陰りが見えてきている。

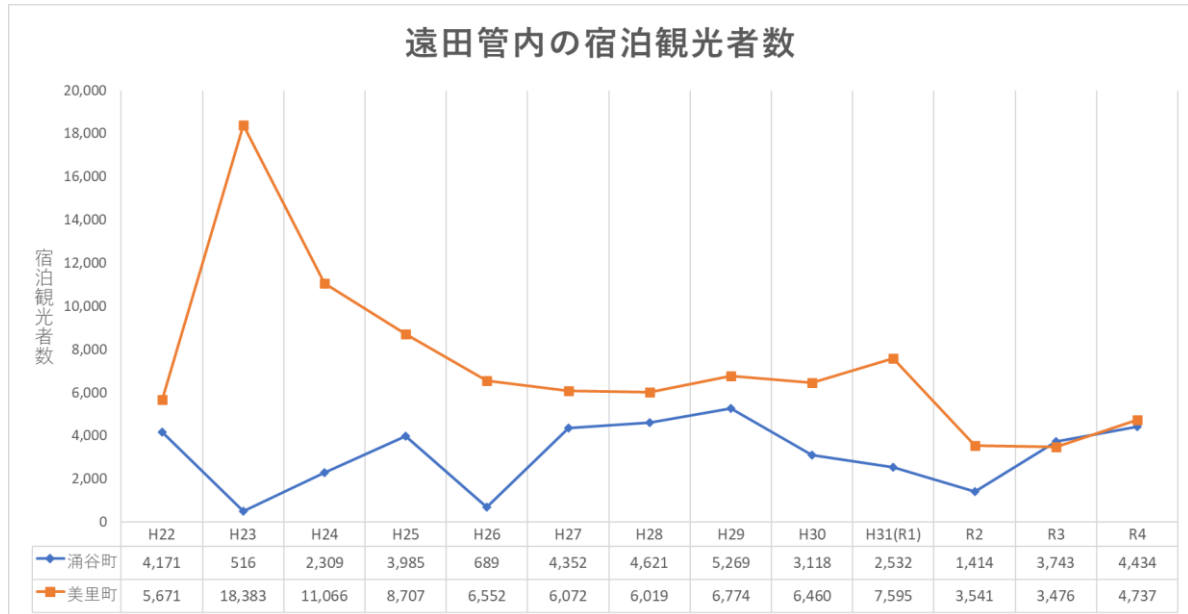


サービス業においては、令和5年に入ってから採算が良くなってきているのがわかる。

第2部：遠田商工会管内の観光動向

①遠田管内の宿泊観光者数

令和2年に新型コロナウイルス蔓延による影響で宿泊観光客数が両町とも減少したが、その後回復傾向にある。なお、美里町における平成23年の宿泊観光者数が突出しているのは、同年に会津美里町も参加して行われた「美里町物産観光復興祭2011」が開催された影響だと考えられる。



(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R4年)

②遠田管内の主要観光スポット入込者数

令和2年に新型コロナウイルスの影響で入込者数がどの観光スポットにおいても減少傾向にあったが令和3年以降回復傾向にある。また、美里町南郷地区の「花野果市場」においては、新型コロナウイルスの蔓延の影響が年々入込者数が若干ではあるが下がってきているものの、依然として管内では最も入込者数が多い。

町名	施設名	入込者数		
		R2	R3	R4
浦谷町	城山公園	1,833	2,342	2,662
	浦谷町くがね創庫	23	1,645	1,928
美里町	農産物直売所「花野果市場」	255,152	243,803	235,520
	でんえん土田畑村	2,187	2,515	3,318

(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R4年)